



みどりっ子便り

全校集会より

12月13日(火)、全校集会を感染防止のため集まらずにZOOMを使ってオンラインで行いました。

2学期の子どもたちの素晴らしい活躍を表彰し、全校生から大きな拍手が送られました。

校長からは、2学期残り8日、みどりっ子のめあて「3つのあーあいさつ、あんぜん、あとしまつ」を意識して行動していこうと話しました。この「あ」には「当たり前のことを、当たり前にしっかりやる、小さなことでも全力でやる、全力投球で」という意味も含まれていること、当たり前のこととは、人として社会や学校の中で、誰もが気持ちよく安心してくらししていくために、すべての人が守らなければならないこと、決まりやマナー、他の人に迷惑をかけない、など。特に次の2つのことがしっかりとできる人になろう、と呼び掛けて次のような話をしました。

1 あいさつー素直な心で「ありがとう」「ごめんなさい」を！

「おはよう、ありがとう、ごめんなさい」等の挨拶は相手のことを思いやる言葉であり、心と心をつなぐ魔法の言葉。挨拶ができないと、相手や友達とのつながりも結ばなくなってしまう。特に大切なのが、「ありがとう」「ごめんなさい。」やってもらってうれしい時には「ありがとう」を。間違ってしまった時には「ごめんなさい。」を。間違いは誰にでもある。それを素直に認め、謝ることで、もう一度心と心を結び直すことができる。自分の行動には責任が伴う。間違いを素直に認め、素直に「ごめんなさい」が言えるように。注意もしっかりと、素直な心で聞くことが大切。家の人や先生、地域の方などは、みなさんによくなってほしいから、間違った行動、直してほしい行動には注意をする。何も言わないのがやさしさではない。その人のことを思えばこそ、友だち同士でも、悪いことはしっかりと注意し合う、「やめて」と正しい言葉で伝える。よいところは認め合い、励まし合える仲間になってほしい。

「ごめんなさい」
「ありがとう」
素直な心で



2 あんぜんー相手の身になって考えよう！

自分の命、自分の心や持ち物が大切なように、友達や他の人の命や心、持ち物も大切。それを傷つけることは許されない。ちくちく言葉などの言葉の暴力、殴る、蹴るなどの暴力、物を投げて人のものを壊す、体を傷つけるなどの行為は、決して許されない。例えば、学校の設備や物、机やトイレなどや、公園、広場、道路など、みんなが使う場所やみんなが使う物は、自分だけのものではない、みんなが気持ちよく使うためのルールやマナーがある。それらを守らなければ、多くの人に迷惑をかけたり、いやな思いをさせたりすることになってしまう。そして、自分の行動には、責任が伴う、壊れたものを治す、傷付いた心や体を治すためには、たくさんの労力が必要でとても大変。皆さんだけの力ではできない、皆さんの家の人も巻き込んでしまうことになる。心も体も「あんぜん」に生活するためには、相手の立場になって考えることが大切、自分がやられて嫌なことはしない。逆に、自分がやってもらったらうれしいことをしよう。優しい言葉には、優しい言葉が返ってくる。優しくすると、優しくしてもらった人が嬉しい気持ちになり、次の人にも優しくできる。優しさがどんどん広がっていく。優しさいっぱいふわふわ言葉でいっぱいの緑ヶ丘第一小学校にしよう。

相手の身になって考えよう



☆ 当たり前のことを全力でやるー全力投球！

この2つの当たり前をしっかり、全力で頑張ろう。気持ち一つで、誰にでもできる小さなこと。その小さなことを一生懸命頑張る、全力で頑張る人って素晴らしいし、かっこいい。そういう人は大きなこともしっかりできる。当たり前のことが当たり前でできるかっこいいみどりっ子になろう。

当たり前のこと
全力でやる
全力投球



今回は当日欠席したお子さんにも伝えたいと思い、掲載しました。お子さんの心身共に健やかな成長のためには、学校、家庭、地域が力を合わせていくことが大切だと思います。みんなが気持ちよく過ごせる学校、地域、社会を全職員、保護者、地域の皆様と共に力を合わせて目指していきたいと思っています。皆様方のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。